

1 (2) ひらがな 4 字指定 (5), (6) 各順不同完答

(1)	い	(2)	り	ん	ふ	ん	(3)	あ	(4)	う
-----	---	-----	---	---	---	---	-----	---	-----	---

(5)	え, お, か	(6)	う, お, か	(7)	か	(8)	い
-----	---------	-----	---------	-----	---	-----	---

2 (2)A, B, C 各完答 (7) 天の河・天の川銀河・天の河銀河 も可

(1)	88	個	(2) A	名 ま え	ベガ	色	エ
-----	----	---	-------	-------------	----	---	---

(2) B	名 ま え	デネブ	色	エ	C	名 ま え	アルタイル	色	エ
-------	-------------	-----	---	---	---	-------------	-------	---	---

(3) A	こと	座	B	はくちょう	座	C	わし	座
-------	----	---	---	-------	---	---	----	---

(4) ①	A	②	C	(5) A	(6) ア	(7)	天の川
-------	---	---	---	-------	-------	-----	-----

3 (7) 順不同

(1)	ウ	(2)	ア	(3)	イ	(4)	88	g
-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	---

(5)	32	g	(6)	4	個	(7)	4	g	9	g
-----	----	---	-----	---	---	-----	---	---	---	---

4

①	エ	②	イ	③	カ	④	ク
---	---	---	---	---	---	---	---

⑤	キ	⑥	ケ	⑦	シ	⑧	ソ
---	---	---	---	---	---	---	---

[配点] ①~③ : 各 3 点 × 28 = 84 点
 ④ : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

1

- (3)(4) アリはテントウムシからアブラムシを守るかわりに、アブラムシからあまいしるをもらっている。このように、たがいに助け合って生きている関係を共生という。タイとエビは、「エビでタイを釣る」と言われるように、食べる・食べられるの関係になっている。
- (7) トンボをつかまえる方法の 1 つ。他に、トンボの目の前で指をくるくると回す方法もある。
- (8) トンボは肉食なので、回転している小石を小さな虫とかんちがいして食べようと近づいてくる。そのとき、小石の間のひもが体にまきついて地面に落ちる。

2

- (5) 全天で最も明るいのはシリウスだが、夏の大三角で最も明るいのはベガである。

3

- (1) 木は水に浮き、ねん土は水にしずむ。これは、大きさや重さを変えても変わらない。
- (2) もともとの木は 150 g だったので、取り出した 50 g の木ははじめの大きさの $\frac{3}{10}$ である。
もともとのねん土は 200 g だったので、取り出した 50 g のねん土ははじめの大きさの $\frac{1}{4}$ である。
はじめは同じ大きさだったので、 $\frac{3}{10}$ の大きさである木の方が、 $\frac{1}{4}$ の大きさであるねん土よりも大きい。
- (3) 形を変えても重さは変わらない。
- (4) おもりを全部使ったときが最大の重さである。 $50\text{ g} + 20\text{ g} + 10\text{ g} + 5\text{ g} + 2\text{ g} + 1\text{ g} = 88\text{ g}$
- (5) $20\text{ g} + 10\text{ g} + 2\text{ g} = 32\text{ g}$
- (6) $67\text{ g} = 50\text{ g} + 10\text{ g} + 5\text{ g} + 2\text{ g}$
- (7) 1 g ~ 10 g の重さは、以下のようにして調べることができる。
- 3 個使う… $5\text{ g} + 2\text{ g} + 1\text{ g} = 8\text{ g}$
2 個使う… $5\text{ g} + 2\text{ g} = 7\text{ g}$
 $5\text{ g} + 1\text{ g} = 6\text{ g}$
 $2\text{ g} + 1\text{ g} = 3\text{ g}$
1 個使う… 1 g, 2 g, 5 g, 10 g
- このことから、4 g と 9 g ははかることができない。

4

- ①~⑤ 太陽高度が最も高くなる→太陽の熱が地面をあたためる→あたためられた地面が空気をあたためるという順番であたたまっていく。
- ⑥~⑧ 気温は 1.2~1.5m の高さで風通しが良く、直射日光があたらないところではかる。